

株主メモ

1. 事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
2. 基準日 毎年3月31日（中間基準日 9月30日）
（そのほか必要があるときは、あらかじめ公告いたします。）
3. 定時株主総会 毎年6月下旬
4. 公告の方法 電子公告の方法により行います。
但し、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載URL <http://www.nagahori.co.jp/>
※決算公告に代えて、貸借対照表、損益計算書はEDINET（金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム）にて開示しております。

5. 株式に関するお手続きについて

○証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（フリーダイヤル） （土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・ 上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。	

○特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先	
・ 特別口座から一般口座への振替請求 ・ 単元未満株式の買取請求 ・ 住所、氏名等のご変更 ・ 特別口座の残高照会 ・ 配当金の受領方法の指定（*）	特別口座 の口座 管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711（フリーダイヤル） （土・日・祝祭日等を除く平日9:00～17:00） 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局 私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
・ 郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ・ 支払期間経過後の配当金に関するご照会 ・ 株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿 管理人	

（*）特別口座に記録された株式をご所有の株主様は配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

6. 1単元の株式の数 100株

ウェブサイトのご紹介

www.nagahori.co.jp

上記ウェブサイトでは最新情報をお届けしております。

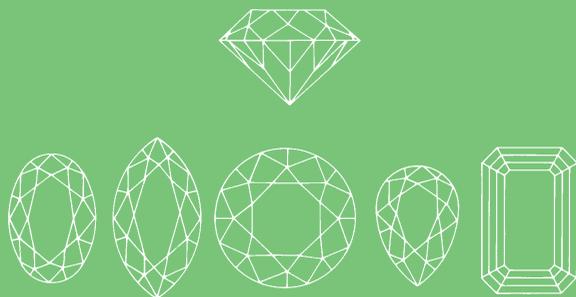


NAGAHORI CORPORATION
www.nagahori.co.jp

第59期

中間報告書

平成31年4月1日～令和元年9月30日



株式会社 ナガホリ

www.nagahori.co.jp

株主の皆様へ

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに第59期中間期（平成31年4月1日から令和元年9月30日までの第2四半期累計期間）の事業の概況と決算についてご報告申し上げます。



代表取締役
社長 長

長堀 慶太

1. 連結経営成績

当中間期における我が国経済は、雇用環境の改善による消費に底堅さはみられる一方、米中貿易摩擦や中国景気減速等の影響による企業の設備投資動向に慎重な動きがみられるなど、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

ジュエリー業界におきましても、高額品販売やインバウンド売上等による堅調な販売動向がみられるものの、購買行動の多様化もあり全体としては消費者の節約志向、激しい企業間競争と、依然として厳しい事業環境となっております。

このような環境の下、当社グループは、富裕層マーケットをコアとする販売チャネルや商品ブランドに重点的に経営資源を投下する「選択と集中」の方針のもと自社雇用の開催、顧客雇事への参加など積極的な販売活動を行いました。また、東京オリンピックを来年に控え、関連の商品販売が好調に推移したことや、消費税率引き上げに対する駆け込み需要も売上を後押ししました。さらに、生産事業本部のもと当社グループの製造機能の強化を図るなど、収益力強化に取り組んでおります。

この結果、当中間期の売上高は111億39百万円（前年同期比12.1%増）、営業利益2億61百万円（前年同期 営業損失48百万円）、経常利益2億42百万円（前年同期 経常損失48百万円）、貸倒引当金繰入額27百万円を特別損失に計上したことにより、親会社株主に帰属する四半期純利益1億18百万円（前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失80百万円）となりました。

セグメント別にみますと宝飾事業の売上高は110億77百万円（前年同期比12.1%増）、貸ビル事業の売上高（外部顧客）は33百万円（前年同期比5.1%増）、太陽光発電事業の売上高は28百万円（同3.2%増）となりました。

2. 連結財政状態

（資産）

当中間期末の総資産は252億7百万円となり、前年度末に比べ1億57百万円の増加となりました。

流動資産は178億5百万円となり、2億30百万円の増加となりました。これは主に受取手形及び売掛金が6億12百万円、原材料及び貯蔵品が2億25百万円それぞれ増加した一方、現金及び預金が4億61百万円減少したことによります。

固定資産は74億2百万円となり、72百万円の減少となりました。これは主に有形固定資産が56百万円減少したことによります。

（負債）

負債は126億12百万円となり、前年度末に比べ2億5百万円の増加となりました。

流動負債は104億14百万円となり、2億71百万円の増加となりました。これは主に短期借入金が1億28百万円増加したことによります。

固定負債は21億98百万円となり、65百万円の減少となりました。これは主に長期借入金が57百万円減少したことによります。

（純資産）

純資産は125億94百万円となり、前年度末に比べ48百万円の減少となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益1億18百万円の発生、剰余金の配当1億53百万円によります。

3. 下半期の運営方針と通期の業績予想

第3四半期以降については、消費税増税による駆け込み需要の反動が軽微に終わるのか、前回増税時のように消費低迷が長期化するのかは判然としません。しかしながら、ジュエリー業界にとっては、本来、この第3四半期が最大の商戦期となります。また自社ブランドを主としたマーチャンダイジングやマーケティング面の強化、生産部門におけるメーカー機能の強化を図り、ナガホリグループ全体での総合力を発揮し、所期の計画を達成する所存でございます。

通期業績予測（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

売上高	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益
百万円	百万円	百万円
20,300	250	140

以上、業績の概況についてご報告申し上げますが、株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和元年12月

四半期連結財務諸表

四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結会計期間 (令和元年9月30日)	前連結会計年度 (平成31年3月31日)
	金額	
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,538,119	1,999,215
受取手形及び売掛金	3,870,628	3,258,329
商品及び製品	11,115,240	11,301,004
仕掛品	267,343	308,221
原材料及び貯蔵品	822,126	596,509
その他	241,517	129,178
貸倒引当金	△49,897	△18,036
流動資産合計	17,805,079	17,574,423
固定資産		
有形固定資産	5,639,929	5,696,307
無形固定資産	71,121	76,152
投資その他の資産	1,691,614	1,703,057
固定資産合計	7,402,665	7,475,517
資産合計	25,207,744	25,049,940
負債の部		
流動負債	10,414,066	10,142,861
固定負債	2,198,887	2,264,154
負債合計	12,612,954	12,407,016
純資産の部		
株主資本	13,414,859	13,449,934
その他の包括利益累計額	△820,069	△807,010
純資産合計	12,594,790	12,642,924
負債純資産合計	25,207,744	25,049,940

四半期連結損益計算書

(単位：千円)

科目	当第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	前第2四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年9月30日)
	金額	
売上高	11,139,522	9,940,624
売上原価	8,021,675	7,180,306
売上総利益	3,117,846	2,760,318
販売費及び一般管理費	2,855,878	2,808,750
営業利益又は営業損失(△)	261,968	△48,432
営業外収益	27,805	50,631
営業外費用	47,194	50,760
経常利益又は経常損失(△)	242,578	△48,561
特別損失	27,963	192
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	214,615	△48,753
法人税、住民税及び事業税	103,617	37,858
法人税等調整額	△7,282	△5,646
法人税等合計	96,334	32,211
四半期純利益又は四半期純損失(△)	118,280	△80,965
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	118,280	△80,965

トピックス

「NADIA」のブランディング、 マーケティング強化



NADIA
SINCE 1962

当社オリジナルブランドである「NADIA」のブランディング、マーケティング強化を現在進めております。

キーワードは「オーガニック ラグジュアリー」。ターゲットである40～50代の女性にキャッチーなフレーズを、ジュエリーにも取り入れました。ビジュアル面では、ステファニー・メディロスさんをモデルに採用。日本発のハイエンドブランドを目指します。

当社は、消費者から信頼されるジュエリー業界のトータルマーケティングとして企業努力を重ねてまいります。

会社概要

社 名 株式会社ナガホリ
NAGAHORI CORPORATION
本 社 〒110-8546 東京都台東区上野一丁目15番3号
TEL 03-3832-8266
設 立 昭和37年
資 本 金 53億2,396万円
グループ事業内容 貴金属・宝飾品等の輸出入、製造加工および国内・国外販売、貸ビル事業ならびに太陽光発電事業

■事業所

名	称	所 在 地	電 話 番 号
本	社	東京都台東区	03-3832-8266
福	岡	福岡市博多区	092-262-3001
大	阪	大阪市中央区	06-6241-5691
アトリエ	ドモバラ	千葉県茂原市	0475-34-5251

役員 (令和元年11月30日現在)

代表取締役社長	長	堀	慶	太
取締役	白	川	文	彦
取締役	吾	郷	雅	文
取締役	川	村	忠	男
取締役(社外)	富	樫	直	記
常勤監査役(社外)	篠	原		繁
監査役(社外)	佐	藤	亮	輔
監査役(社外)	岩	上	和	道

会計監査人 監査法人 日本橋事務所